



子どもの健やかな成長はみんなの願い（1歳6カ月児健診より）

子どもたちが、それぞれ入学、進級して約一カ月がたちました。そろそろ疲れが出てくるころかもしれません。そこで今回は、上手な小児科のかかり方を紹介します。子どもは熱を出したり、下痢をしたり、よく病気をします。子どもの病気の進行が早いので、早く発見して早く治療することが大切です。普段から子どもの様子を把握し「いつもと違う」と気付ける判断の目を養っておきましょう。

上手な小児科のかかり方

診療時間内に受診

子どもの様子がおかしいと思ったら、早く小児科を受診しましょう。受診するときは、レントゲン撮影や検査体制などがより充実している通常の外来受付時間に受診しましょう。例えば、午前中に発熱した場合、大人の都合で夜間救急外来を受診するということは論外です。治療が遅くなると子どもに

平熱を把握しましょう

小児科を受診する症状で一番多いのが発熱です。乳幼児の場合、一般に三七・五度以上を発熱とみなします。子どもの体温は個人差があります。平熱を把握しておくことで、発熱に対して冷静かつ適切に対処することができます。

負担が掛かり、症状を悪化させてしまうこととなります。

小児科豆知識

県立遠野病院小児科医師
木元康生（36歳）

- ◆平熱の測り方＝一日のうちで体温は変動します。体温を測るときは、同じ時間帯に測るようにしましょう。
- ◆座薬の使い方＝発熱したとき、頭の病気以外で42度を超えなければ、脳に障害を残すことはありません。座薬は38.5度を超えているときに使いましょう。
- ◆吐いたときの水分摂取＝吐いているときは、少量の水分を小まめに与えるようにしましょう。泣いても涙が出なかったり、おしっこの回数が2回以下になったときは受診しましょう。

症状と手当て

熱が出た
水分補給に努め、汗をかいたら着替えさせる

ひきつけた
3～5分以内で治まるので、衣類を緩めて安静にする

吐いた
水分を補給し、脱水に気を付ける

すぐに医療機関で受診

- 生後6カ月未満である
- ひどく機嫌が悪い
- ぐったりしている
- 苦しそう

- ひきつけが5分以上続き、止まりそうにない
- 1日に何度もひきつける
- 平熱なのにひきつけた
- 頭を強く打った後でひきつけた

- ひどく機嫌が悪い
- 高熱がある
- おしっこの量が少ない
- 唇が乾いている
- 吐いたものが黄緑色

診療時間内に受診

- 37～38℃くらいの熱
- 下痢や嘔吐がある
- 発疹が出た
- 鼻水、鼻づまり、せきがある
- 食欲がない

- 初めてひきつけたときは、症状が治まってから病院へ

- 生後2カ月未満で授乳のたびに噴水のように吐く
- 体重が増えない
- 発熱、下痢を伴う
- せきとともに、ゲボツと吐く

※症状はあくまで目安です。個人差がありますので注意してください。

◆市文化交流施設「みやもりホール」オープン◆

人、文化、自然との交流拠点が完成



ホールの落成を祝い本田市市長ら関係者がテープカット

市が宮守町下宮守地区に整備を進めていた市文化交流施設「みやもりホール」の落成記念式典は四月二十一日、同ホールで関係者ら約三百人が出席して行われました。舞台機能紹介アトラクションで市内の音楽グループ二団体が記念公演。出席者は音響効果技師の舞台ホールの魅力を堪能し落成を祝いました。

同ホールは、旧村が掲げていた「千年の森構想」から人、文化、自然との交流を目的に整備され、世代間、地域間交流の核施設として活用が期待されます。式典では本田市市長「遠野郷」という地域の特性を生かし、市民総参加でつくり上げる施設となるよう努力します」とあいさ

つ。続いて開館に合わせ宮沢賢治から亡くなられた父、澤里武治氏に送られた書簡など、賢治ゆかりの資料を寄贈した澤里裕氏と、「千年の森」と題して制作された書を寄贈した宮守ふるさと会会長で現代書芸家として活躍している河野忠功氏に感謝状が贈られました。

同ホールは、約1万3479平方メートルの敷地に建設され、鉄骨鉄筋コンクリート造り一部木造二階建て、延べ床面積約1898平方メートル。総事業費は約八億八千万円。

建物の外観は、舞台ホール部分の木目調をイメージさせる造りとなっていて、壁や柱には宮守産のカラマツ集成材を使用し、温かみがあり、自然との共存を象徴しています。



本田市市長から寄贈品に対する感謝状を受け取る澤里裕氏、河野忠功の両氏



落成に花を添えたA・E・L音工房による演奏とバレエの共演

として、楽屋にもなる研修室、作品を展示できるギャラリー、会議室を備えたホールなどは「人との交流スペース」としてそれぞれ活用されます。

地域整備部3課が遠野行政センターに移転

市建設課・都市計画課・下水道課の地域整備部三課が、遠野行政センター（旧遠野地方振興局）に移転します。

今後は、県土木センターと連携し、効率的に基盤整備を推進します。

建設課の事務室は、行政センターの四階、都市計画課と下水道課は三階にそれぞれ移転。事務室移転に伴い三課への直通電話が設置されます。おかけ間違いのないようご注意ください。五月八日からとなります。

遠野行政センター庁舎案内図

